



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985-86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット 仲よく 語ろう ロータリー

第 378 回 例会 61 年 1 月 16 日 第 384 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
53名	45名	84.91%	100%

欠席者 (8名)

古郡 布施 橋本 古田土 熊倉 松崎 大西
種ヶ島

本日のプログラム 1 月 23 日
白井 宏氏 (車体工業(株)総務部長)
「企業内保育について」

次週予定 1 月 30 日
兄玉 敏氏 (神奈川大学教授)
「相続について」

司会 SAA 鈴木久次郎君
ソングリーダー 北砂富三君「奉仕の理想」

《ビジター》

加藤良興君 (綾瀬)
小島民章君 山本淳一君 (厚木)
池田升雄君 仁科真人君 小沢 茂君 (横浜瀬谷)
星 幸男君 大矢晴行君 伊藤正巳君
堀 一一君 黒田忠男君 南雲浩一郎君
鈴木喜一君 (大和)
古木哲夫君 幕田浩一君 菅沼善治郎君 (大和田園)

事が忙しくて例会に出席出来ないということで
退会届が出ておりましたが理事会で受理致しま
した。

《幹事報告》

- ・後期の会費を1月中に事務局へご納入願います。
- ・本日例会後、定例の理事、役員会を開催致しますので宜しくお願い致します。

《会長報告》

- ・貴方のクラブの鍵となった方をご推薦下さいということで、ガバナーよりお手紙が届いています。今年度クラブの鍵となつてご活躍いただいた方を表彰しますというR Iからのコピーも同封されております。
- ・大変残念なことですが、染矢信行さんよりお仕

《委員会報告》

ロータリー財団委員会 委員長 中西 功君
為替レートが1月より202円になっておりますので、この折に是非財団へのご寄付をお願い致します。

出席委員会 委員長 長野俊八君
来る18日(土)の炉辺会合ですが、是非多数のご出席

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：上田 利久
会長レク：藤田 重成
副会長：富沢 重徳
幹事：近藤 富士男
会報委員：松崎・種ヶ島・木村

をお願い致します。皆様とともにロータリーについて語り合いたいと思っております。最近2年間にご入会なさいました方は必ずご出席をお願い致します。尚、当日ご出席されます方は、手続要覧をお忘れなくお願い致します。又、当日は7時からということでご夕食は特に用意致しません、必要な方には迅速に出前をおとりします。

出欠簿をお廻わししておりますので御記入下さい。

迫田浩子嬢カウンセラー 辻 国明君

1982～1983年度ロータリー財団奨学生として当クラブがスポンサークラブとなって送り出し、西ドイツのデトモルト音楽大学で学んでおりました迫田浩子嬢が今春めでたく卒業され帰国することになりました。皆様のボックスの中に彼女のリサイタルのちらしが入っていること、と思いますが来る3月8日に日野市民ホールにてリサイタルが催されるそうですので、皆様も是非彼女の成長ぶりをみていたゞきたいと思えます。

《お祝》 おめでとうございます！

お誕生日	鈴木久次郎君	(1月21日)
	長野俊八君	(1月21日)
御夫人お誕生日	三浦泰之君 かず江夫人	(11月28日)
	飯島順一郎君 和子夫人	(1月21日)
結婚記念日	三浦泰之君	(11月28日)
	藤田重成君	(1月21日)
創業記念日	古木勝治君	(1月16日)
	金井大輔君	(1月18日)

社会奉仕の調理法

1. 私達のように活動的で献身的なロータリアンの沢山いるクラブを選ぶ。
2. 明確なニーズに応える入念に計画されたプロジェクトをその上加える。
3. 完成までに十分な時間をとる。

この調理法は地域社会にくまなく役立つものである。

クラブフォーラム

「社会奉仕について」

古木社会奉仕委員長：今更申し上げるまでもなくロータリーの社会奉仕ということは手続要覧にも書かれておりますのでお解りかと思いますが、反復の意味で、かいつまんで読んでみたいと思えます。「ロータリーは個人個人を啓発することにつとめ、この啓発を通じてその人が社会に於ける自己の立場を見出し、その立場に於いて奉仕を行なうことが出来るようにする」ということで定義づけられていますが、社会奉仕としては決議23-34号がございます。これが最近はいろい議論がわかれております。が、これがなくしてロータリーはあり得ない、又個人としまでもロータリーに入っている価値がない私は思っております。とに角我々社会奉仕委員会としましては、ロータリアンとしてこの奉仕の理想の適応を実行することに於いてよいのではないかと思っております。

私が感銘を受けています第1としまして「奉仕の理論が職業及び人生に於ける成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと」となっていることです。私もロータリーに入りましてそれぞれの皆さん方からいろいと学びながら個人の活動をしており、個人として社会奉仕をしていくということが最も大事であろうと思っております。ロータリアンはその学んだことを主観的、抽象的な理論で通すばかりでなく、客観的な行動に移していくのだということを私は勉強してきたつもりです。こういう事で皆さん方もやっておられるのではないかと思っております。

ロータリアンとしては現存の機関を利用することが望ましいと手続要覧にも書かれておりますが私もその通りであるように勉強し実践しているわけであり、社会奉仕はいろいろありますが、計画書に記しました通り、高齢化社会に対する認識を今こそ勉強したいと思っております。ロータリーの皆様はそれぞれ管理者であり経営者であり、老後の心配というものは先ず考えておられないと思えますが、そこで働らく従業員或はその家族に

について考えたことがあるでしょうか。否、考えなければ企業は成り立たないと思っているわけであり、私は今、たまたま大和市の社会教育委員をやっておりますが、今問題になっております高齢化社会に突入しようとする時に生涯教育について諮問されております。それを今私はロータリーを通じましていろいろ調査研究をしていますが皆様方の例会に於きましての日常の言動や或はいろいろの事業に参画する中で勉強させられていることが私のもっとも喜ばしいことです又、会長の“子供達に動物的ぬくもりを”についても社会奉仕委員会でとりあげても素晴らしいことであろうと思っております。また具体的には行動には完全に入ってはおりませんが、常に会長が求めておられました継続された卓話の中でいろいろと出てきております。こういうようなこともまとめながら社会奉仕委員会でやっていきたいと思っております。

決議23-34がある限り、現存する限り、又この全文にほれこんで私共ロータリアンとして日々活動しているわけであり、今日は4人の社会奉仕委員の皆さん方が、それぞれ日頃行なっていること、又これから皆さん方に訴えたいこと、思うことを申しあげさせていただくことになっております。そして会員の皆さま方からご意見を賜り、まだ半年残っております社会奉仕委員会の事業にご注文いただければ幸いです。

又計画書に書いてあります、当委員会のメインであります身体の不自由な方々の一日招待なども計画しておりますが、その時にはどうしたら宜しいかというようなことも今から皆さんのご意見を賜われれば素晴らしいものが出来ると思っております。松本三君：社会奉仕委員会の副をやらせていただいております。委員長から10分間いただいたのですが、この10分間は皆さんから7時間いただいたのと同じことであるので大切にしなければいけないと思いました。

世界的に有名なマザーテレサさんの本の中からすこし抜萃して読ませていただきます。

「世界中の貧しい人達、私達の兄弟姉妹は私達に同情やあわれみを求めているわけではありません。この人たちに必要なのは私達の愛であり慈悲であります。この人たちは愛し愛されることを求めているのです。……貧しい人達を理解するには、誰が貧しい人なのかを知らねばなりません。ご承知のように貧しさというのはパンに飢えているということだけではありません。今日の世界では愛に飢えているということがあります。孤独にさいなまれるという飢えもあります。人から相手にされない愛されないかまってもらえないという飢えもあります。……お互いが愛し合うようになるためには、お互いを知りあわねばならないのです。お互いに愛するようになれば、きっとお互いに奉仕するようになるでしょう。」

私は常にロータリーは物を与えたり、お金を与えただけでは本当の奉仕にはならないのではないかと。そのためにこじきこん情をつくってしまう。

物の考え方をかえることにより、相手に良い印象を与える場合と悪い印象を与える場合があると思うのです。例えばお嫁さんがお姑さんの肩を叩いている姿をみて皆さんはどういうように感じられるか。見た感じでは何とやさしいお嫁さんであろう。と思われると思います。しかし本当はそのお嫁さんの心づかいが問題であると思います。「早くこんなおばあさん死んでしまえばよい」と思っているのか「長生きして下さいね」という気持ちで叩いているのか。形は見えても心までは見えないわけです。ですから私達が社会奉仕をする場合も形だけではなく心を添えてしていきたいと思っています。その時に相手にもその気持は通じるものだと思います。

もう一つ曾野綾子さんの本から抜萃させて貰います

「もらい」「与え」「もらう」

この10年の間に私は何才から、あるいはどのような人が老人なのかを折々考え続けた。年金を受ける年から。定年退職の年から、というような分け方は当てにはならなかった。人間の老化の程度

は実に人によってさまざまだからである。もっと厳密に言えば、一人の人間の中でさえ一つ一つの器官の老化の進み具合はまちまちである。私の場合、関節は比較的柔かく行動も素早い、生まれつきの近視の影響もあって、眼の老化は人より20年もしくは40年も早くあらわれていたようである。私は今、比較的誰にもあてはまり、かつ主観と客観の一致する方法として「もらう」ことを要求するようになった人を何才からでも老人とすることにしている。人間は子供の時には、まずもらうことから始まる。おっぱいを飲ませてもらいオンブをもらい、やがて学校へ行くようになるとランドセルを買ってもらい、お弁当をつくってもらう。これが15年から時とすると20年以上も続く。しかし、その子はやがて独立し「与える」側に廻る。妻子を養い、子供を教育し、年老いた親をかばう。そして何10年かたつと彼は老い、再び自然に子や孫や社会から手助けしてもらい、与えられる立場に廻る。しかし彼が本当に一人前の人間であった期間には、彼は何才であろうと、誰かに何かを与えていたのである。それゆえ、真の成年というものは、肉体的年齢が何才であろうと、与えている人であり、もらうことばかり要求している人はどんなに若くとも老人である。という考え方である。この徴候は自他共に明確にわかるから単純でいゝのではないかと思う。

「ありがとう」と言える心を

それでは、若いうちから不運にも病気が出て、受けるほかはなくなった人は20才で老人といわれなければならないのかということになる。そんなことはない。もしその人が最低限、感謝の心もち、身のまわりの人すべてに「ありがとう」と言うことさえ出来れば、それは看護をする人々に喜びを与えるから、彼は立派に成年であって老人ではない。

というように書いてあります。これは私、その人その人の考え方で変わるのではないかということ、物の尺度は人それぞれに違うのだということだと思いました。

岩田君：ロータリーに入れていたゞきまだ10ヶ月で、社会奉仕委員としての心がまえも出来ておりませんし、こういう高い所に座らせていただいたのはじめてでございますので、何をお話してよいのか解りませんが、身近かに私の会社でヴェトナム難民の雇用を致しておりますこの1年間に私の感じました事をお話させていただきます。一昨年12月39才の子供が5人いる（3年生 2年生 1年生 5才 0才）人を知り合いにたのまれあずかりました。非常にしっかりした良い人でした。しかしいくら良い人でも家族構成から企業が採用しなかった。これは非常に責任が重いのです。それを私が預って参りまして昨年12月で丸1年になりました。雇用がはじめての経験でしたので、どういう形で定着させるかということが問題でした。いったん難民センターを出ますと彼等はもう帰ることが出来ませんあとは日本の社会の中に於いて自分で職を探して生活をしていくということになっていますので定着して家庭が安定していくためにはどうすべきかということで色々苦勞致しましたが、何れにしても本人が会社の中で仕事を覚え、一緒に働いている日本人の信頼を得るということが一番大切であると考え、本人にもそれを言い含め、それには家庭のことを心配していたのでは出来ないから家のことは私が全面的に責任を持ってあげましょうということでやり、この1年振り返ってみますと結果的にはそれがよかった気がします。家の方の責任を持ちました為に小学校の入学、自治会でのあり方、法的な手続き子供のために病院へいくこともあり非常に大変でしたが本人が仕事の方に何の失敗もなく打ちこんでいけるという体制をつくるためにはこれをしなければならない。そのあと2人加わり現在3人おります。非常によくやってくれます。むしろ日本の同僚が感心するほどです。彼等は生命がけで、国を捨て、日本に参りまして日本に永住権を取得致しまして日本の社会に溶けこんでいこうと語っています。彼等はホーチミン思想に従うことが出来なかった。受入れることが出来なかったという

ことだけです。北は恐ろしいと言っています。日本語がうまく話せませんが、この恐ろしいという言葉の中にはいろいろな意味が含まれているのではないかと聞いておりました。何れにしても彼等は思想革命の中で、いつの日か昔のような国をとるはかない現実を夢みております。が、その理想とする祖国を持たないということは非常に気の毒だと思います。我々は大変幸福だということをかみしめまして終ります。

鈴木久君：社会奉仕について日頃の自治会活動、地域の活動の中から感じたこと、又これから皆さんに特にお願いしたいこととお話させていただきます。

社会奉仕とは、常日頃身近かな所から奉仕をすることであり、ご近所の皆様と悪口を言い合える信頼関係を結ぶという所からはじまるのではないかと思います。いくら手をさしのべてあげようと思っても相手の心がわからなければ、さしのべられないのです。地域の相互扶助という意味では皆さん方が朝おきて夜寝るまで言葉をかけ合うという事がもっとも金のかゝらない社会奉仕だと思います。「おはようございます」「今日ワ」「今晚ワ」の一言でどの位その人達が幸せになれるか。是非地域で、ご近所の皆さんに、ちょっと顔の合った方に声をかけ合うことを実行して下さい。

小学校時代「箸持てば天地御代の御恵父母と子孫の恩忘れず」というような言葉があったと思いますが、よくかみしめてみますと、戦前から社会奉仕というようなものがあったわけです。これをよくかみしめた中に自然と社会の恩恵というものを守りつゝ奉仕を実践していたゞければ有難いことではないかということを感じて話させていただきました。

古木君：我が社会奉仕委員会は以上4人で活動を進めていこうとしておりますが、四者四様の意見がまとまってこそ素晴らしい委員会になると私は後半の活動に期待しております。皆さんの中から我々に対するご指導がいたゞければ有難いと思っております。

芦田君：すべて奉仕の問題は決議23-34にのっているわけですし、社会奉仕委員会の方々は、会のメンバー全員が如何にして自然の中に社会奉仕活動を進めていくかという道をつけていく事が仕事であると思います。実践の方法は会員それぞれが個人個人によって考え方によって実践していたゞければよいことでありその方向づけを委員会でやっていたゞくことが任務であると思います。クラブの奉仕とロータリー本来の個人の奉仕の2本立てでやっていくことが大切であると思います。

長谷川君：只今の芦田さんと全く同じ考えであります。が一つ申しあげたいことは、ロータリーという私共の団体が大和市内に存在していることに対し、すくなくとも社会奉仕委員会は価値のある、地域に対する積極的な働きかけがあってよいのではないかと思います。

亀谷君：会長が先日年頭挨拶の中でロータリーは職業分類であり、奉仕の実践を行なう人を育てるのがロータリーであると述べられていましたが、私はこの一言に尽きると思うのです。

クラブとして一つのことをすることも勿論大切ですが、同時に自分達個人個人が自分の職業を通じて社会奉仕をしなくてはいけないと思います。個人により考え方により、やり方により違った特色のある良いものが出来ると思いますので、それをクラブがサポートするというような形でいけばよいのではないかと思います。

清水君：お金を余り使わないでうまく奉仕をする方法はないかと思ひこの1年間考えてきたのですが、結論は、金を使う使わないが区別でなくスタートの所は全く同じで、昨年私がつくった新語を紹介してその意のあるところをお話してみたいと思います。世の中に「お金持ち」というのがありますが、広い心、豊かな心をもっている人を「お心持ち」と呼ぶことにしたらどうかと考えたのです。清水さんは金持ちではないがお心持ちだといわれるようになれば本当の奉仕ではないかと思うのです。大和中クラブの人は皆んなお心持ちだと外の人からでも言われるようになったら本当に良いクラブ

になるのではないかと思います。気持ちの良い人達、お心持ちの人をつくるということが、ロータリーの目的の一つではないかという気がしております。

北砂君：自分自分が社会の奉仕の実践に入っていくということしかないと思います。これが団体的に出ていくと会長ではないですがライオンズクラブじゃないかという事になってくるかと思えます。個人個人があくまでもロータリーの精神を勉強しなおして、社会に精神的にも実践的にも入っていくのがよいのではないかと思います。

上田会長：私、嬉しくて何も申しあげる言葉はございません。社会奉仕委員会の方々は申すまでもなくご発言下さいました方々、それを拝聴して下さいている方々みんながこんなにまで社会奉仕をよく理解しておられたかと思うと大変感激でございます。それぞれに皆すばらしいお話でした。一言で申しあげさせていたゞきますと相手を理解するところにやさしさが芽生える。ロータリーとはそういうものではなからうかという気が致しました。

《スマイルボックス》 委員長 古川 巖君

山本淳一君（厚木）初めてお邪魔致しました。

後藤君とは厚高の同級生です。宜しくお願い致します。

小沢 茂君（横浜瀬谷）新年明けましておめでとうでございます。本日はお世話になります。

池田升雄君（横浜瀬谷）本年も宜しくお願い致します。

仁科真人君（横浜瀬谷）お世話になります。

加藤良興君（綾瀬）お世話になります。

星 幸男君（大和）本日も宜しく

大矢晴行君（大和）皆様明けましておめでとうでございます。本年も宜しくお願い致します。

堀 一一君（大和）明けましておめでとうでございます。本年初めての貴クラブでのメークアップ

です。宜しくお願い致します。

黒田忠男君（大和）お世話になります。

伊藤正巳君（大和）本日もお世話になります。宜しく申し上げます。

南雲浩一郎君（大和）お世話になります。今年も宜しく。

古木哲夫君（大和田園）新年おめでとうございます。本年も宜しく

菅沼善治郎君（大和田園）本年も宜しく申し上げます。

幕田浩一君（大和田園）今回もお世話になります。宜しくお願い致します。

鈴木久次郎君 誕生祝ありがとうございます。昭和1ケタの42才(?)です。これからも元気で頑張ります。

長野俊八君 誕生日のお祝ありがとうございます。

半世紀が過ぎまして折返し2才になりました。只今ロータリーの幼児教育に専念しております。大人の皆様にはいつもお世話になっております。今後もご指導をお願いします。

藤田重成君 つい忘れる結婚記念日祝っていたゞき有難うございます。

飯島順一郎君 家内の誕生日祝有難うございます。

金井大輔君 創業記念日を祝っていたゞいてありがとうございます。また来年も宜しくお願い致します。

富沢重徳君 昨日長女が無事成人式をあげる事が出来ましたので

後藤定毅君 厚木クラブの山本さんがメークアップに見えました。私の厚木高校時代の同じクラスの親友です。新年早々嬉しくてスマイル致します。